

セシル・シャミナード

Cécile Chaminade (1857-1944)

ベル・エポックに花咲いた初の職業女性作曲家

コンチェルティーノ ニ長調 op.107 Concertino (Fl.&Pf.)

森の精 op.60、秋 op.35-2、ピエレット op.41 他 (Pf.Solo Pieces)

ピアノ・トリオ 第2番 イ短調 op.34 (Pf. Vn. Vc.)

2em Trio pour piano, violon et violoncelle en la mineur op.34

スペイン風セレナーデト長調 op.150 (クライスラー編曲) (Vn.&PF)

Sérénade Espagnol en sol majeur op.150

コンチェルトシュトゥック 嬰ハ短調 op.40 (林川崇氏による室内楽編曲版、本邦初演)

Concertstück pour piano et orchestra op.40 (Arranged for Pf. 2 Vns, Vla, Vc, Cb, Fl.)

Pf. 坂井千春、Vn. 玉井菜採、Vc. 向山佳絵子、Fl. 高木綾子

2nd Vn. 吉本萌慧、Vla. 和田志織、Cb. 水野翔子

2021年10月25日(月) 19時 開演 (18時15分開場)

東京文化会館 小ホール (一般4000円、学生2000円、全自由席)

pia.jp/t

チケット
ぴあ

0570-02-9999

科研費

KAKENHI

この演奏会はJSPS科研費 JP40381925 の助成を受けたものです。

This concert is supported by JSPS KAKENHI Grant Number JP40381925

[後援]一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

[チケット取扱い] 東京文化会館チケットサービス Tel:03-5685-0650

<http://ticket.pia.jp/pia/event.ds?eventcd=2124307>

チケットぴあ (Pコード: 203558)





シャミナード(1857-1944、仏)は経済的に自立した職業女性作曲家の草分けです。ヴィクトリア女王の御前やホワイトハウスで自作のピアノ曲を演奏し、19世紀末には世界各地に100以上のファン・クラブがあったほどの大人気を誇っていました。20世紀後半になぜか忘れ去られていたのですが、近年愛好家たちの間で静かなブームになっています。彼女の魅力的な音楽を、現代の第一線で活躍する素晴らしい女性音楽家たちが再現します。



坂井千春(Chiharu Sakai) ピアノ(Pf.)

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、同大学ピアノ科を経て同大学院修士課程修了。ロータリー奨学生としてブリュッセル王立音楽院に留学し、ブルミエ・プリを取得、さらにパリ・エコール・ノルマルでコンサーティスト・ディプロムを取得した。ロン・ティボー、エリザベート両国際コンクール・ファイナリスト。マリア・カナルス、ポルト、ロンドン国際コンクールで優勝。故ダイアナ妃よりスタインウェイ・グランド・ピアノを授与された。第2回出光音楽賞受賞。「フランス音楽の夕」で第16回青山バロックザール賞を受賞。現在、東京藝術大学教授として後進の指導にあたり、2019年度より科研を取得し、シャミナードや女性作曲家についての研究を続けている。



玉井菜採(Natsumi Tamai) 1st ヴァイオリン(1st Vn.)

京都生まれ。桐朋学園大学在学中に、プラハの春国際コンクールヴァイオリン部門に優勝。大学卒業後に渡欧、アムステルダム・スヴェーリンク音楽院でH.クレバース氏、ミュンヘン音楽大学マイスタークラスにてA.チュマチェンコ氏に師事。この間、J.S.バッハ国際コンクール最高位をはじめ、エリザベート王妃国際コンクール、シベリウス国際コンクールなど、数々のコンクールに入賞している。滋賀県文化奨励賞、平和堂財団音楽奨励賞、文化庁芸術祭新人賞、京都府文化賞奨励賞などを受賞。紀尾井ホール室内管弦楽団コンサートマスター、東京クライスアンサンブルメンバー、アンサンブルofトウキョウ ソロヴァイオリニスト。ソロだけでなく室内楽の分野でも活発な演奏活動を展開している。東京藝術大学音楽学部教授。使用楽器は藝大所蔵のStradivarius "Ex-Park"(1717)。



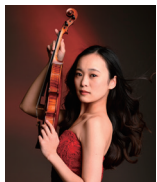
向山佳絵子(Kaeko Mukoyama) チェロ(Vc.)

東京生まれ。9歳よりチェロを始め、松波恵子、堀江泰氏、レーヌ・フラショー、毛利伯郎の各氏に師事。1985年、第54回日本音楽コンクール第1位入賞。87年、東京芸術大学入学。88年、第3回アリオン賞審査委員奨励賞受賞。90年、ドイツ・リュベック国立音楽大学に留学し、ダヴィド・ゲリンガスに師事。同年、第10回ガスパー・カサド国際チェロ・コンクール第1位入賞。92年、NHK交響楽団の「若い芽のコンサート」に出演し、高い評価を受けた。同年、第2回出光音楽賞受賞。2017年度まで東京藝術大学非常勤講師として、2018年度からは京都市立芸術大学准教授として後進の指導を務める傍ら、日本を代表する実力派チェリストとして益々活動の場を広げている。



高木綾子(Ayako Takagi) フルート(Fl.)

東京藝術大学大学院修了。第70回日本音楽コンクールフルート部門第1位、ジャン＝ピエール・ランパル国際フルートコンクール第3位、神戸国際フルートコンクール第3位など多数の受賞歴を誇る。2004年秋にはパリ室内管弦楽団との共演でパリ・デビュー。2000年にCDデビューを果たし、これまでに12枚をリリース。すべてが高い評価とセールス実績を残す。またテレビ・ラジオ・CM出演など従来のクラシック演奏家の枠にとらわれない活動で各方面から注目を集めている。現在、東京藝術大学准教授、洗足学園音楽大学客員教授を務めるなど後進の指導も行っている。



吉本萌慧(Moe Yoshimoto) 2nd ヴァイオリン(2nd Vn.)

北海道出身。ドイツにてバイオリンを始める。第18回日本演奏家コンクール大学生の部1位、併せて文部科学大臣賞、毎日新聞社賞を受賞。2019年度東京藝術大学モーニングコンサートに出演し、藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。これまでに、大森潤子、清水高師の各氏に、現在は野口千代光、景山誠治各師に師事。東京藝術大学音楽学部卒業時に同声会賞を受賞。室内楽を松原勝也、市坪俊彦、坂井千春の各氏に師事。現在、同大学院修士課程2年に在籍中。



和田志織(Shiori Wada) ヴィオラ(Vla.)

横浜国際音楽コンクール第3位。江戸川新進音楽家コンクール第2位。ウラジオストク国際音楽コンクール(ロシア)第1位。その他多数のコンクールで入賞。日露親善音楽交流ウラジオストク公演にて、佐藤眞作曲ヴァイオリン協奏曲をウラジオストク交響楽団と共演。ヴァイオリンを野口千代光氏、ヴィオラを市坪俊彦氏に師事。室内楽を玉井菜採氏、坂井千春の各氏に師事。藝大附属高校、藝大音楽学部をヴァイオリン専攻で卒業後、現在同大学院にヴィオラ専攻で在学中。



水野翔子(Shoko Mizuno) コントラバス(Cb.)

4歳からヴァイオリンを森川ちひろ氏に師事。12歳からコントラバスを始める。神奈川県立湘南高等学校卒業。これまでにコントラバスを岡本潤、吉田秀、西山真二、池松宏の各氏に師事。ヴィオラ・ダ・ガンバを福澤宏氏に師事。室内楽を玉井菜採、藤本隆文、坂井千春の各氏に師事。古楽から現代曲まで、オーケストラ、吹奏楽、室内楽など編成やジャンルに捉われず、幅広く演奏活動を行う。東京藝術大学音楽学部器楽科コントラバス専攻卒業。



林川崇(Takashi Hayashikawa) 作曲家(コンチェルトシチュウツク編曲)

東京藝術大学作曲科卒業。歴史的ピアニストによる自作曲や編曲に強い関心を寄せ、楽譜の蒐集及び演奏に取り組む他、自らもピアノ用の作編曲を多く手掛け、マルク＝アンドレ・アムラン等からも高く評価されている。ラヴェル(ジル＝マルシェックス編曲)「5時のフォックス・トロット」の演奏を収録したCDがサクラフォンより発売、大英図書館に購入される。校訂楽譜に「ピアノで感じる19世紀パリのサロン」(カワイ出版)がある。